

練馬区 認知症(もの忘れ)相談
～平成 27 年度実績～

1 相談件数

4 高齢者相談センター（本所）において、各所 9 回ずつ実施した。

平成 27 年度の相談回数は、合計 36 回、相談件数は 95 件であった。（表 1）

表1

月	回数	相談件数
4・5	8	18
6・7	5	13
8・9	6	19
10・11	6	18
12・1	5	15
2・3	6	12
合計	36	95

※相談件数は世帯単位。

2 来談者数と内訳

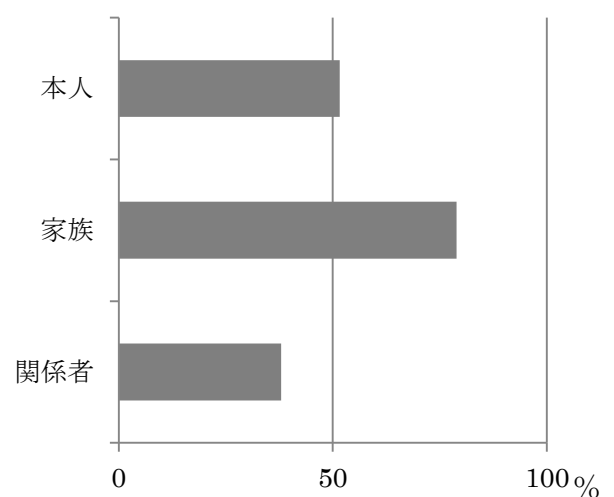
来談者は、合計 160 名であった。内訳は、本人 49 名、家族（同居・別居問わず）75 名、関係者（ケアマネージャー、行政職員、住民など）36 名であった。（表 2）

相談件数に対する来談者の内訳の割合は、本人 51.6%、家族 78.9%、関係者 37.9%であった。（図 1）

表2

月	相談件数	来談者		
		本人	家族	関係者
4・5	18	12	13	2
6・7	13	6	17	2
8・9	19	8	14	13
10・11	18	10	13	4
12・1	15	7	9	9
2・3	12	6	9	6
合計	95	49	75	36

図1



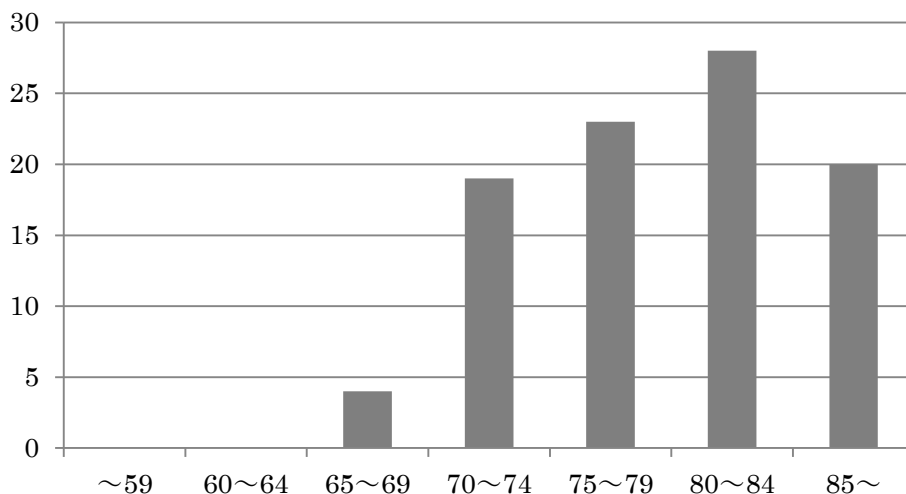
3 本人の年齢分布

本人年齢は、70歳以上がほとんどを占めた。(表3、図2)

表3

年齢	人数
～59	0
60～64	0
65～69	4
70～74	19
75～79	23
80～84	28
85～	20
不明	21
合計	74

図2



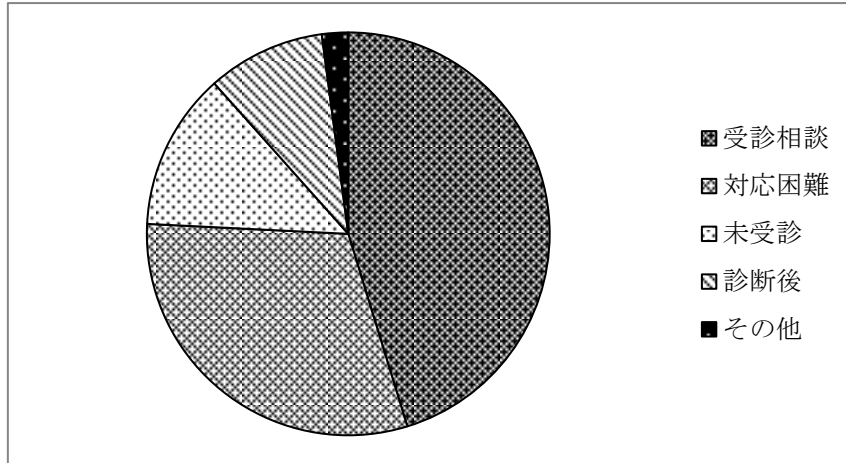
4 主訴

相談の主訴を表4のように5つに分類して集計した。(表4、図3)

表4

分類	内容	件数	割合
受診相談	相談者が認知症かどうかの鑑別診断を求めているもの。	43件	45.2%
未診断	症状はあるが、受診拒否等により、受診するまでの手段に難渋しているもの。	12件	12.6%
対応困難	診断の有無にかかわらず、妄想や暴力等により相談者が困窮しているもの。	29件	30.5%
診断済	認知症と診断されているが、対応の仕方などの助言を求めているもの。	9件	9.5%
その他	上記にあてはまらないもの。	2件	2.1%
合計		95件	100%

図3



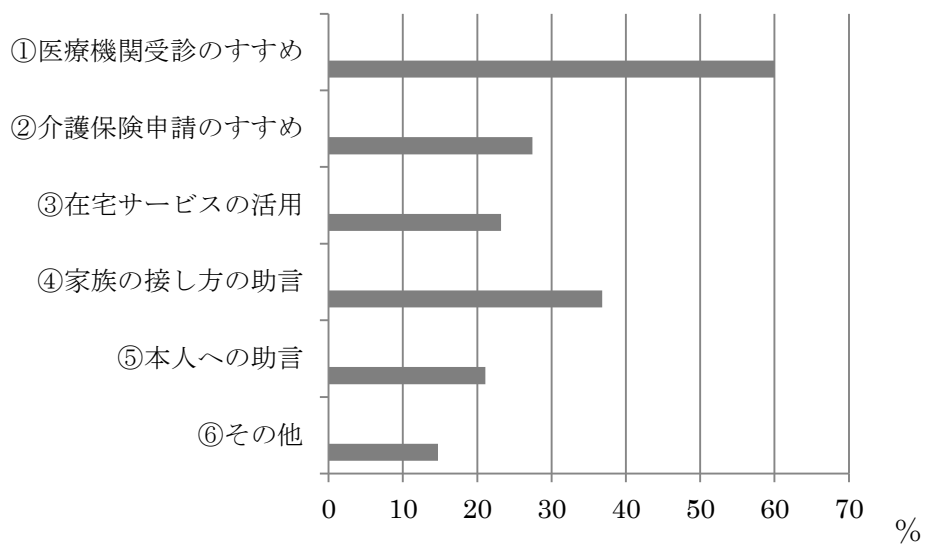
5 相談結果

相談結果は、表5のように6つに分類して集計している。(表5、図4)

表5

分類	延べ件数	割合(n=95)
①医療機関への受診のすすめ	57	60.0%
②介護保険申請のすすめ	26	27.4%
③在宅サービスの活用	22	23.2%
④家族の接し方の助言	35	36.8%
⑤本人への助言	20	21.1%
⑥その他	14	14.7%

図4



6 平成27年度 訪問相談(初期集中支援チーム)実績

(1)訪問実績

表6

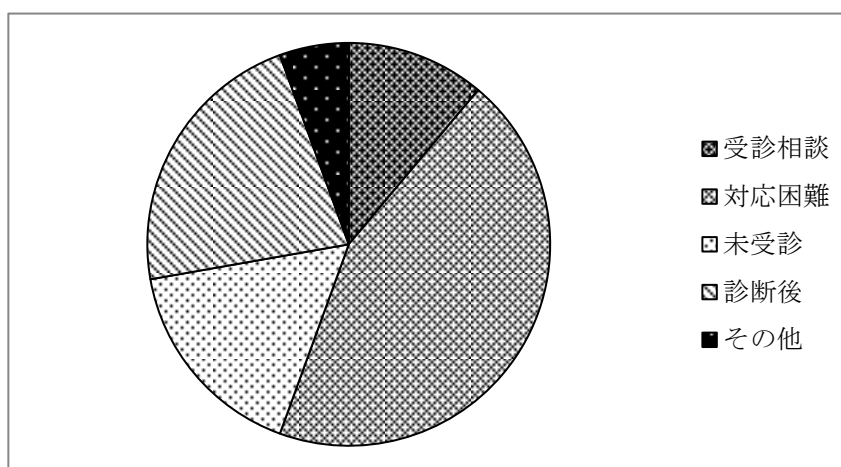
初期集中支援チームの医師が同行しての訪問相談	延件数	対象者実人数
※ 初期集中支援チームおよび認知症(もの忘れ)相談事業実績としてカウント	7件	7人
初期集中支援チームの医師の助言を受けての訪問相談	延件数	対象者実人数
※ 初期集中支援チームの実績としてカウント	11件	11人

(2)相談主訴

表7

分類	内容	件数	割合
受診相談	相談者が認知症かどうかの鑑別診断を求めているもの。	2件	11.1%
未診断	症状はあるが、受診拒否等により、受診するまでの手段に難渋しているもの。	3件	16.7%
対応困難	診断の有無にかかわらず、妄想や暴力等により相談者が困窮しているもの。	8件	44.4%
診断済	認知症と診断されているが、対応の仕方などの助言を求めているもの。	4件	22.2%
その他	上記にあてはまらないもの。	1件	5.6%
合計		18件	100%

図5



(3) 相談後の対応

表 8

分類	延べ件数	割合(n=18)
①医療機関の受診	16	88.9%
②介護保険申請、サービス利用	12	66.7%
③成年後見制度の利用	6	33.3%
④在宅サービスの活用	3	16.7%
⑤家族の対応 (家族がいる人 8 人。内同居 4 人)	7	38.9% (家族がいる人 では 87.5%)
⑥地域とのつながり	1	5.6%

図6

